

2022年10月3日
日本銀行新潟支店

新潟県の金融経済動向

【基調判断】

県内景気は、資源価格の上昇や新型コロナウイルスの影響などから、持ち直しの動きが鈍化している。

輸出は、回復を続けているものの、一部で弱い動きが続いている。設備投資は持ち直しの動きがみられる。個人消費は、一部で弱い動きとなっているものの、持ち直している。公共投資は下げ止まっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。

生産は、回復を続けているものの、一部で弱い動きが続いている。企業収益は減速しつつある。企業の業況感は悪化した。この間、雇用・所得環境は改善の動きがみられる。

【前回からの変更項目】

	今回（10月3日公表）	前回（9月2日公表）
全 体	資源価格の上昇や新型コロナウイルスの影響などから、持ち直しの動きが鈍化している。	新型肺炎の影響から引き続き厳しい状態にあり、持ち直しの動きは鈍化している。

本件に関するお問い合わせは以下までお願いします。

951-8622 新潟市中央区寄居町 344 番地

TEL : 025-222-3103 FAX : 025-227-1136

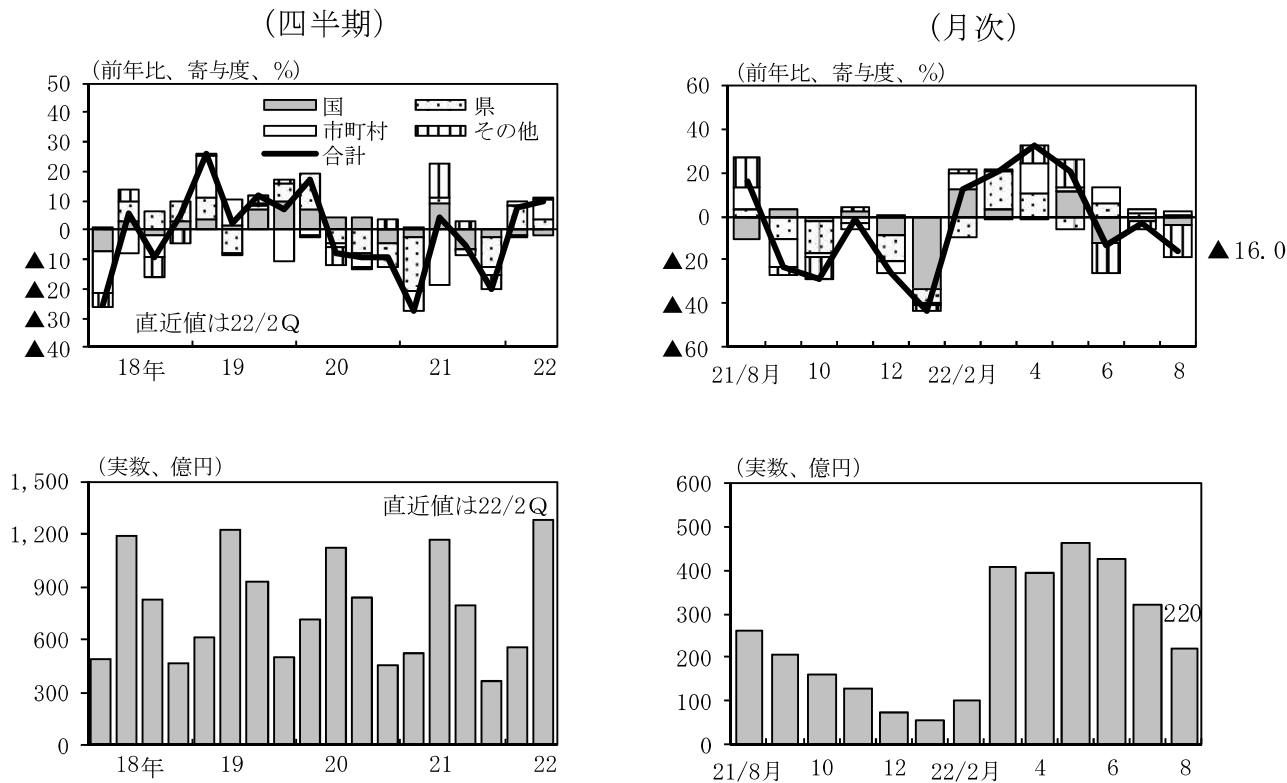
ホームページアドレス : <https://www3.boj.or.jp/niigata/>

1. 実体経済

公共投資は下げ止まっている。

2022年8月の県内の公共工事請負金額は、国などでの発注減少により、前年を下回った。

[公共工事請負金額] (前年比・実数)



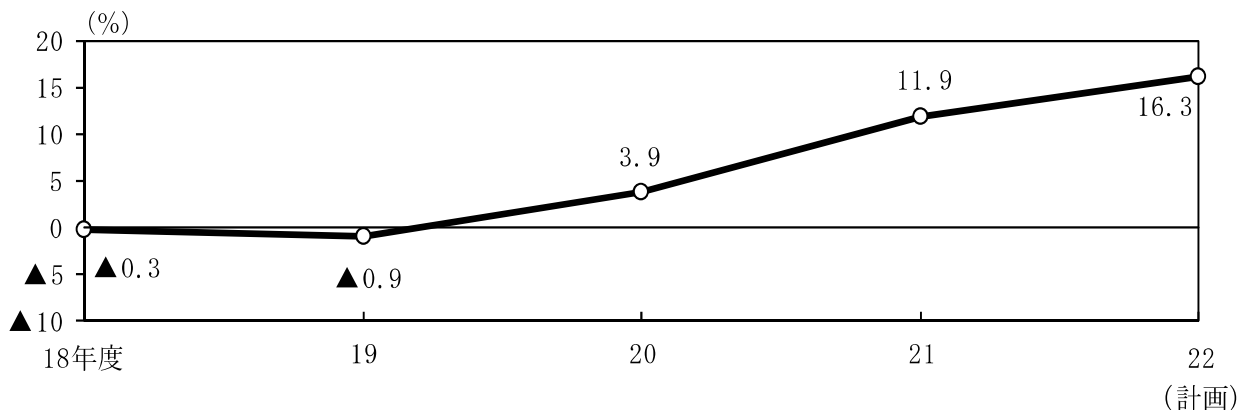
出所：東日本建設業保証(株)新潟支店

輸出は、回復を続けているものの、一部で弱い動きが続いている。

最近の動向を業種別にみると、電気機械、化学は増勢が鈍化している。一般機械は回復している。金属製品（作業工具）は持ち直している。輸送用機械は弱い動きとなっている。

2022年9月短観（製造業）では、2022年度は前年を上回る計画である。

[短観・輸出（製造業）] (前年比)



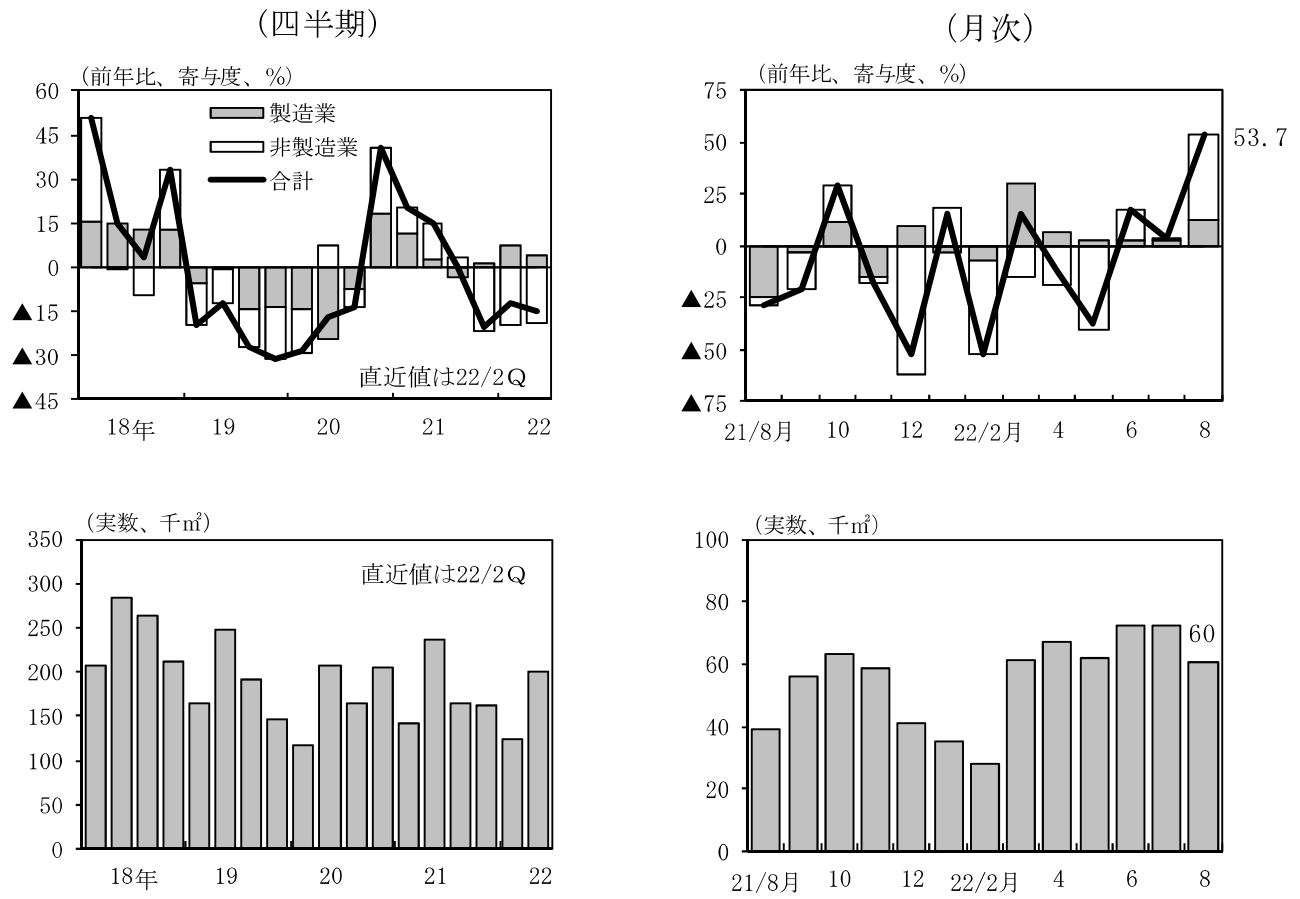
出所：日本銀行新潟支店

設備投資は持ち直しの動きがみられる。

2022年8月の県内の建築着工床面積（非居住用）は、前年を上回った。

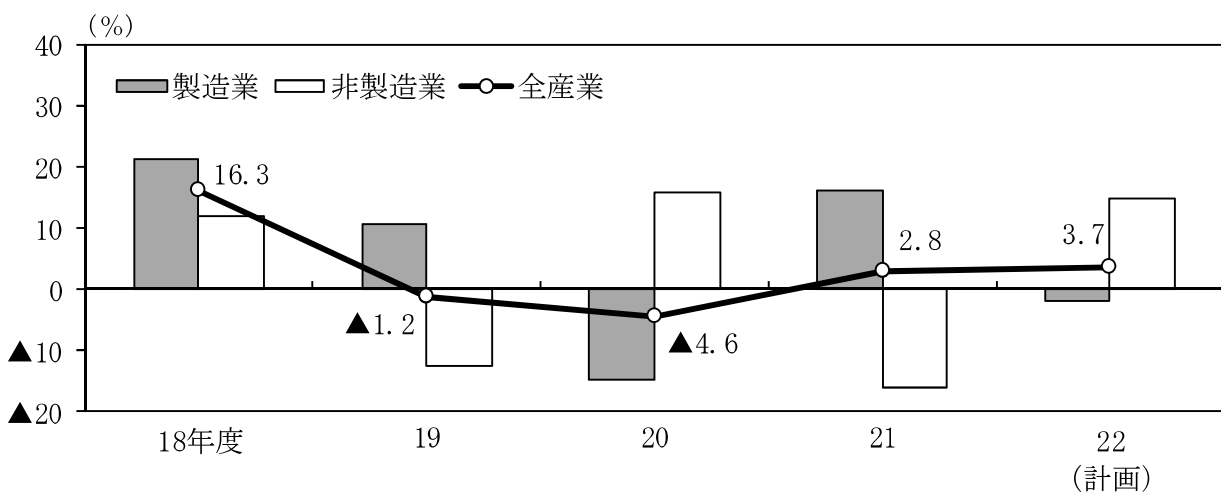
2022年9月短観では、2022年度は前年を上回る計画である。

[建築着工床面積（非居住用）]（前年比・実数）



出所：国土交通省

[短観・設備投資]（前年比）



出所：日本銀行新潟支店

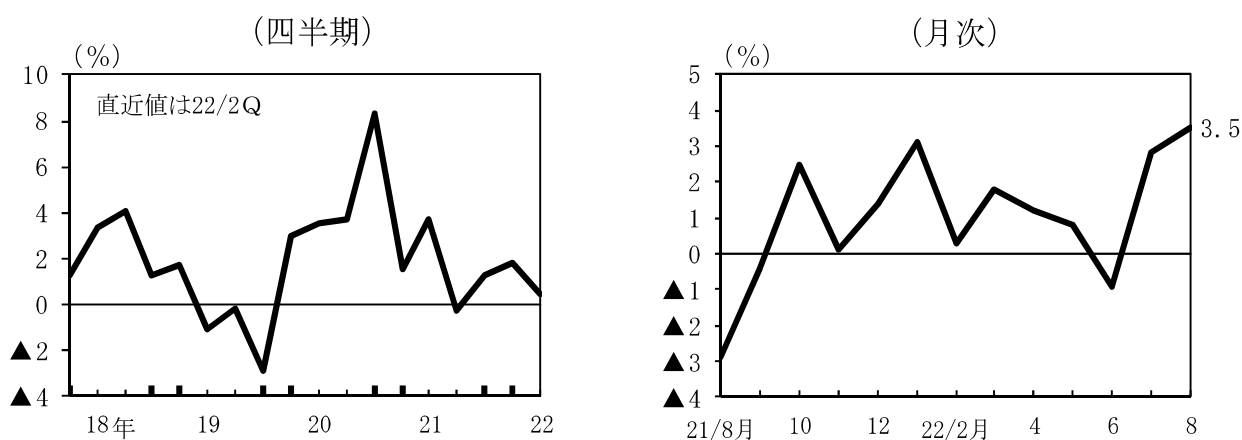
個人消費は、一部で弱い動きとなっているものの、持ち直している。

2022年8月の百貨店・スーパー販売額は、前年を上回った。食料品は頭打ちとなっている一方、衣料品は持ち直しの動きがみられている。

2022年8月の乗用車の新車登録・届出台数は、前年を下回った。家電販売額は弱めの動きとなっている。

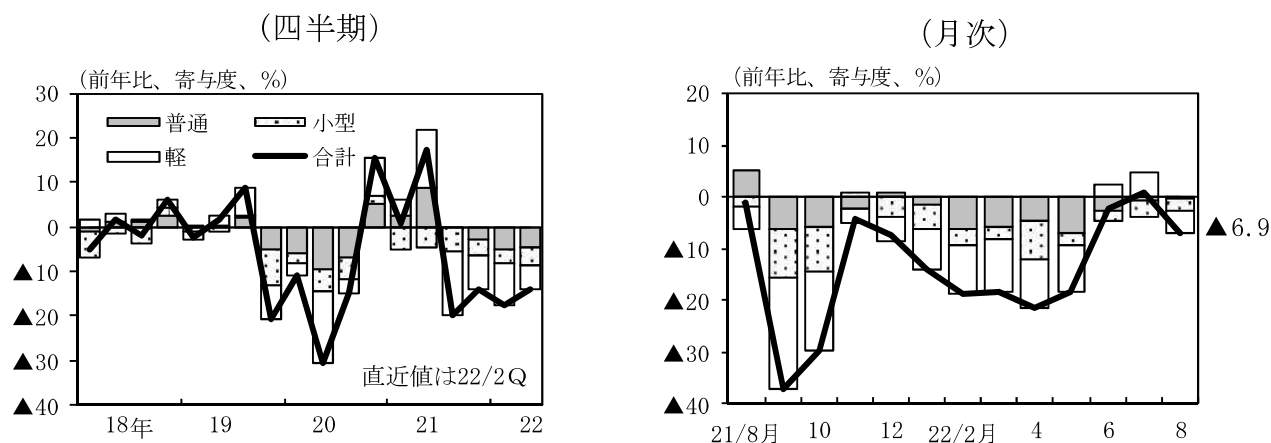
旅行取扱高は緩やかに持ち直している。

[百貨店・スーパー販売額] (前年比)



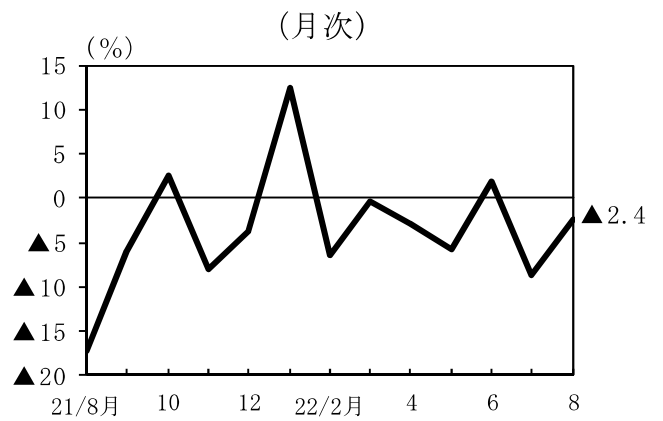
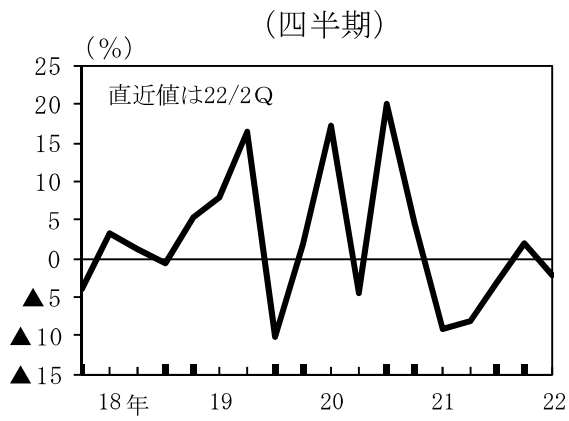
出所：経済産業省

[乗用車新車登録・届出台数] (前年比)



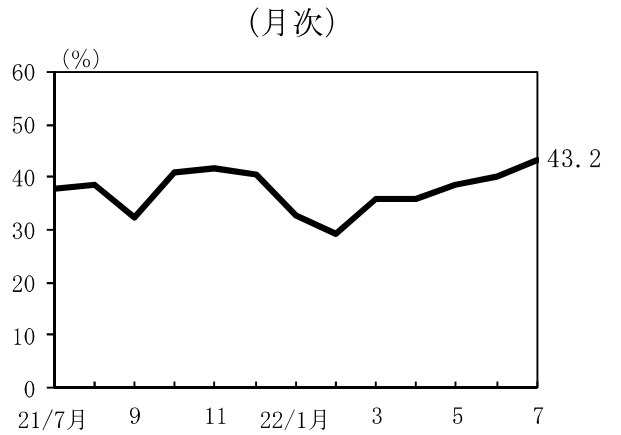
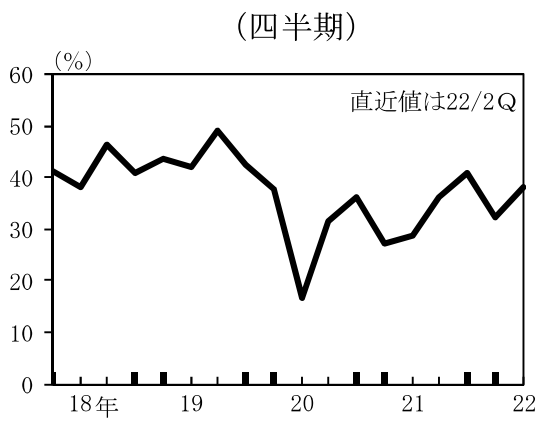
出所：新潟運輸支局

[家電大型専門店販売額] (前年比)



出所：経済産業省

[客室稼働率]



出所：観光庁

[参考：小売・娯楽の人出] (増減率)



出所：Google LLC (直近値は9月26日)

生産は、回復を続けているものの、一部で弱い動きが続いている。

食料品（米菓、練り製品）は、堅調に推移している。

電子部品・デバイスは、増勢が鈍化している。

一般機械（建設機械、工作機械、産業機械）は、回復している。

金属製品（作業工具）は、持ち直している。

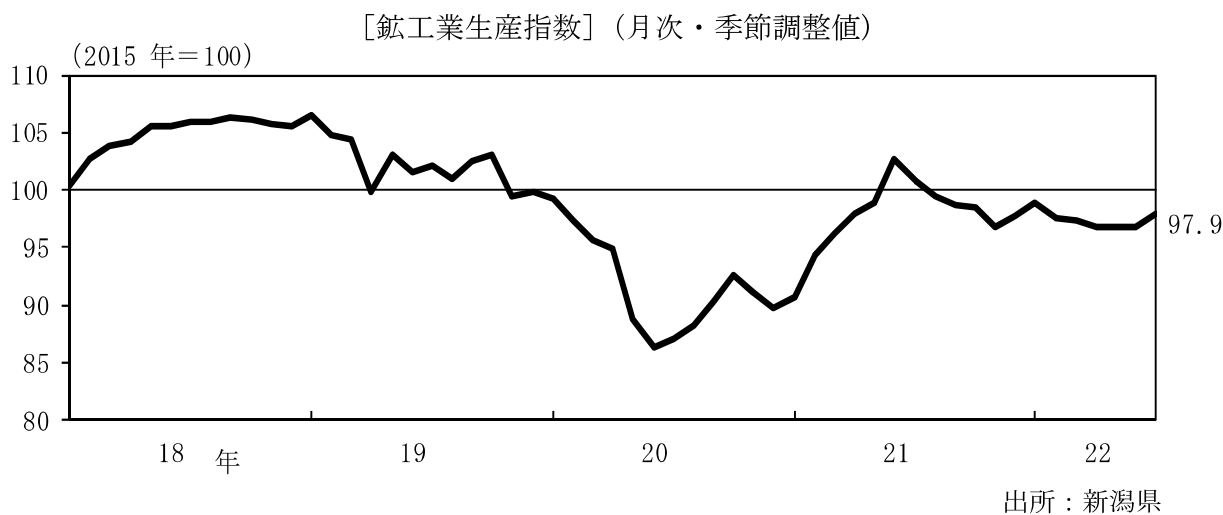
化学は、増勢が鈍化している。

輸送用機械（自動車関連部品）は、弱い動きとなっている。

鉄鋼は、弱い動きとなっている。

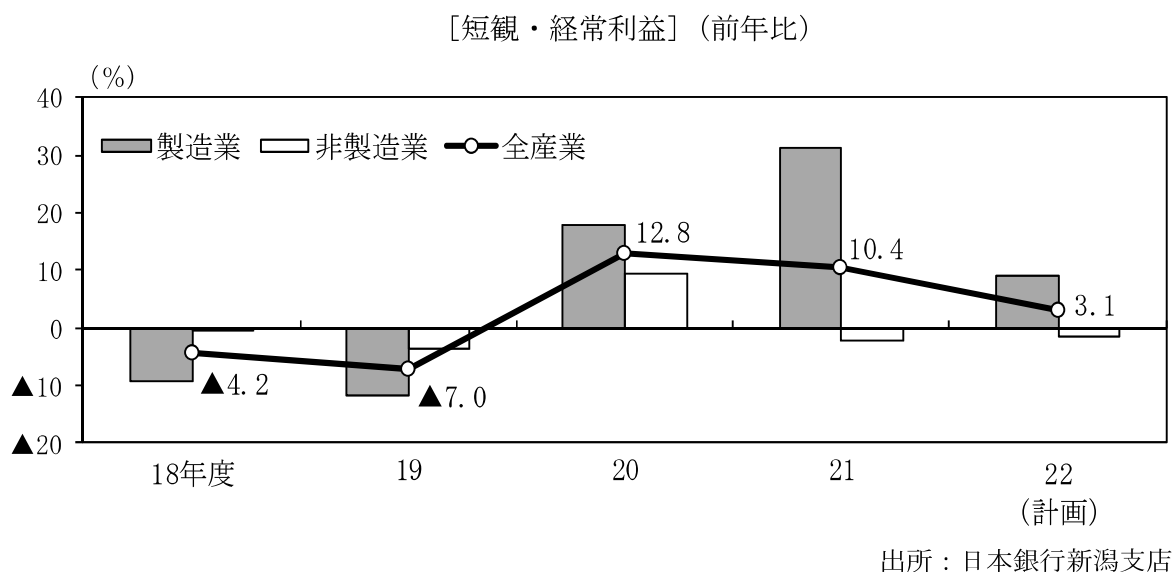
繊維は、低調な生産を続けている。

なお、2022年7月の県内の鉱工業生産指数は、前月比上昇した（季調済前月比+1.2%）。



企業収益は減速しつつある。

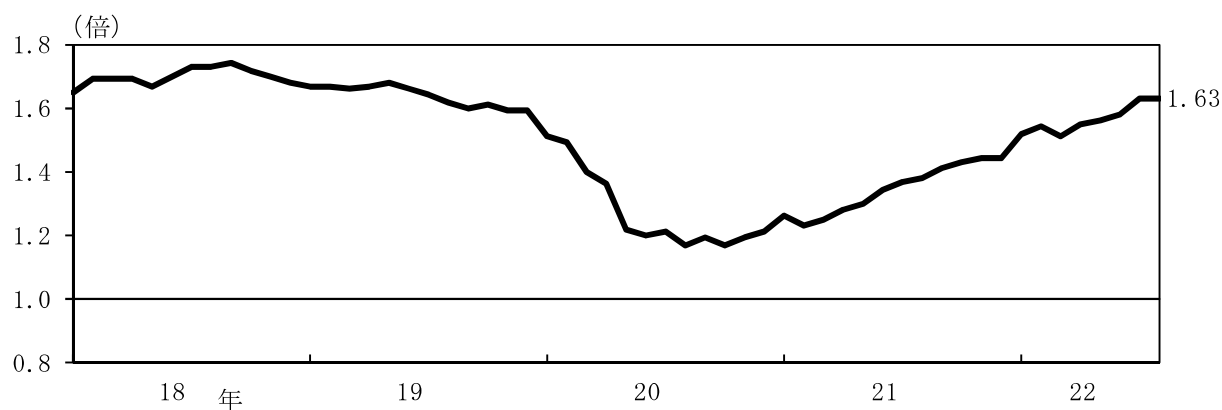
2022年9月短観では、2022年度の経常利益は増益の計画である。



雇用・所得環境は改善の動きがみられる。

2022年8月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月並みとなった。求人数、求職者数ともに、前月から減少した。

[有効求人倍率]（月次・季節調整値）



出所：新潟労働局

企業の業況感は悪化した。

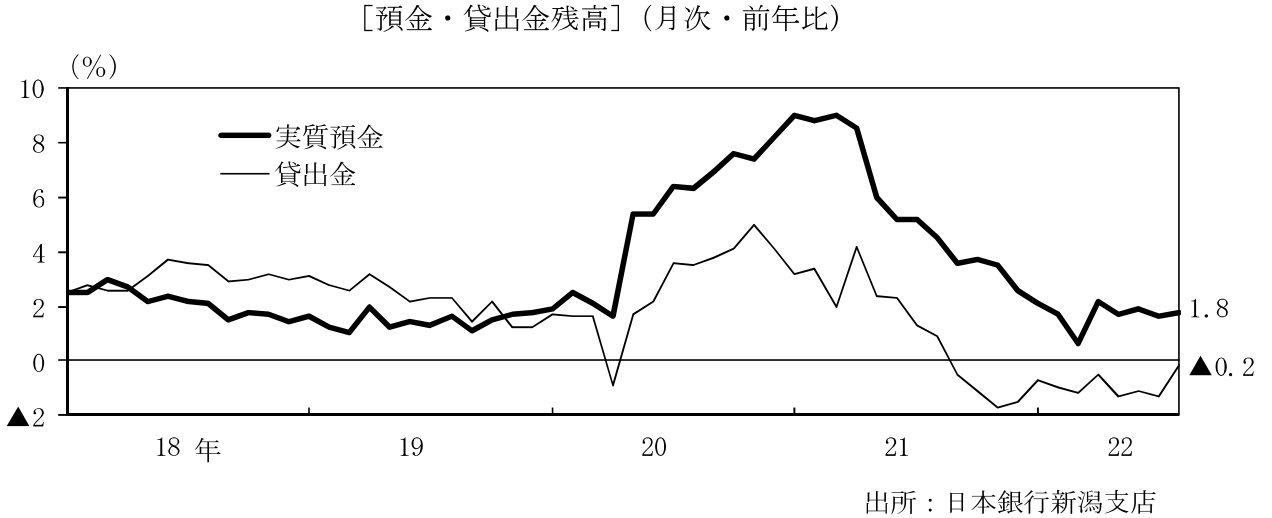
2022年9月短観の業況判断D.I.は、「悪い」超幅が拡大した。

製造業は、コストアップによる利幅縮小や部品調達難による減産などから、「悪い」超に転化した。非製造業は、価格転嫁の進捗や工事受注の増加などから、「悪い」超幅が縮小した。

2. 金融

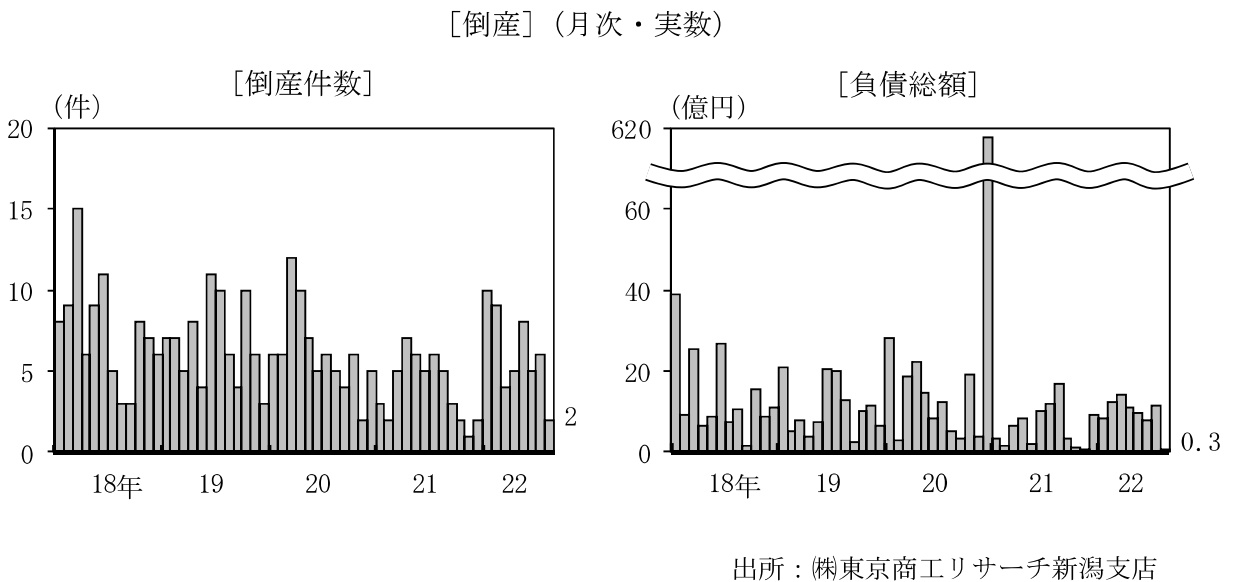
預金は増加している一方、貸出金は減少している。

2022年8月の県内金融機関の実質預金は、前年を上回った。一方、貸出金は、前年を下回った。



企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を下回った。

2022年8月の県内企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を下回った。



以上